

## 1. 会員数の推移

種別	年月日	2020年度 2021年3月31日	2021年度 2022年3月31日	増減
	正 会 員	法人A	56	50
法人B		44	42	△2
個人企業		12	12	0
小計		112	104	△8
賛 助 会 員	法人	2	2	0
	個人A	3	2	△1
	個人B	11	11	0
	小計	16	15	△1
合 計		128	119	△9

### ○2021年度実績

#### <2021年度ブロック別会員数>

2022年3月31日現在	
大阪	54
京都	8
兵庫	15
福井	1
滋賀	2
奈良	11
和歌山	28
合 計	119

#### <2021年度入退会実績>

2021年4月1日～ 2022年3月31日		
入 会	法人A	0
	法人B	1
	個人企業	0
	賛助法人	0
	賛助個人A	0
	賛助個人B	0
	小 計	1
退 会	法人A	6
	法人B	3
	個人企業	0
	賛助法人	0
	賛助個人A	1
	賛助個人B	0
小 計	10	
合 計		△9

## 2. 事業概要報告

2021年度も、長引く新型コロナウイルス感染症影響下での企業活動を余儀なくされた年となりました。当協議会も活動に制限を受けましたが、オンラインを積極的に活用し、関西NBCの本来の趣旨である関西に新しい事業を創出するための諸事業を近畿経済産業局はじめ関係諸団体との連携のもと取り組み、地域経済への貢献を目指しました。

基本方針として、1. ニュービジネスの創出・育成・支援 2. 起業家マインドを持った次世代人材の創出・育成 3. 会員満足度の向上及び会員拡充の3つの方針を掲げ、下記事業を行いました。

高校生を対象にした起業家教育プログラムの提供等を通して人材教育に取り組み、起業家マインドを持った人材を育て、新しく柔軟な発想を関西NBCに持ち込んでもらうことを目指しました。

歴史ある「関西NBCニュービジネスアワード」は、『アントレプレナー部門』『ビジネスプラン部門』『U-19部門』において、多数の魅力あるプランの応募をいただきました。

「ニュービジネスカフェ」などの既存支援事業の活動については、オンラインによる開催により、ニュービジネスの種が集まってくるような仕組みづくりを行いました。

ブロック活動は、地域が抱える個別の課題の具体的解決が可能となる「講演会」や「勉強会」を地域特性に合わせてオンライン開催やリアル開催し、地域の活性化に向けた取り組みを行いました。

大手企業とベンチャーキャピタル、ベンチャー企業の交流会である「Connect!」については「再生医療・次世代医療機器」関連をテーマに神戸市内において開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2021年度の開催を見送りました。

コロナ禍の厳しい状況が続く中でも歩みを止めることなく、関西2府5県の広域で活動する当協議会の特徴を活かし、地域を活性化すべく事業を進めた1年となりました。2021年度の当協議会の事業活動に当たり、会員企業はもとより関係行政および関係諸団体並びに大学・研究機関等の多大なるご支援ご協力を賜りましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

## ■全体事業

### (1) 総会、理事会、幹部会等について

第9回定時総会を6月にオンラインにて開催。理事会を5月(会場・オンラインのハイブリッド開催)、6月(書面)、12月(ハイブリッド開催)、1月(ハイブリッド開催)、3月(ハイブリッド開催)の計5回開催した。また、正副会長会議を5月、6月、12月、1月、3月の5回開催した。

### (2) 「関西NBCフェスタ 2021」の開催について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2021年度は開催中止とした。

### (3) 「関西NBCニュービジネスアワード 2021」について

ニュービジネス企業及び起業家の育成を目的として、関西地域において独創的かつ市場性のあるニュービジネスを展開している、また、ビジネスプランを実現しようとしている企業・団体・経営者及び学生の中から事業及びビジネスプランを総合的に評価し、優秀者に対して表彰・公表を行うことにより、それらのニュービジネス・経営者の事業成長の支援を図るものである。

### <選考及び発表>

6月1日から9月27日までを募集期間とし、アントレプレナー部門15件、ビジネスプラン部門15件、U-19部門271件、合計301件の応募があった。

選考期間：9月28日～11月16日

選考委員会を開催し、書類及び事前選考と候補者によるプレゼンテーション選考により、部門賞を選出した。

各部門賞は次の通り。(順不同)

### ◆アントレプレナー部門

#### 【ニュービジネスグランプリ】【近畿経済産業局長賞】

対象事業：中高生向けオンライン 国際交流プログラム

会社名：株式会社 With The World

代表者：代表取締役 五十嵐 駿太

#### 【部門賞】

対象事業：切削加工業向け加工プログラミング完全自動化 AI

会社名：アルム株式会社

代表者：代表取締役 平山 京幸

#### 【部門賞】

対象事業：中小製造業向け目視検査 AI サービス

会社名：株式会社フツパー

代表者：取締役 COO 黒瀬 康太

#### 【部門賞】

対象事業：Mylc 細胞を使用した新規微生物混入試験の事業化

会社名：マイキャン・テクノロジーズ株式会社  
代表者：代表取締役 CEO 宮崎 和雄

**【部門賞】**

対象事業：人工脂肪を活用した乳房再建の実現  
会社名：株式会社レナートサイエンス  
代表者：代表取締役 長谷川 雪憲

**◆ビジネスプラン部門**

**【最優秀賞】**

対象事業：ダチョウ頸動脈を用いた下肢血行再建用小口径人工血管の開発  
チーム名：人工血管  
代表者：山岡 哲二（ヤマオカ テツジ）  
国立循環器病研究センター研究所 生体医工学部

**【部門賞】**

対象事業：みんなに優しい♪ 頑張らない系環境サービス  
チーム名：Sirvein  
代表者：川崎 由紀子

**【部門賞】**

対象事業：微量点眼デバイスで点眼困難者を救え  
代表者：草桶 大輝 つばめ製薬 代表

**【部門賞】**

対象事業：【誰もがワーケーションできる世界を】  
旅行・観光業のコロナからの復興と持続可能な  
地域・社会の未来を実現するイケてるワーケーション！  
チーム名：IKETEL  
代表者：松本 栄祐（マツモト エイスケ）  
株式会社 IKETEL 代表取締役社長

**【部門賞】**

対象事業：DIYAR  
チーム名：チーム空島  
代表者：楠本 悠真 阪南大学 4年生

◆U-19 部門 ※グランプリは二組となりました。

【グランプリ】

対象事業：おいしく無くそうフードロス

代表者：金 建熙 大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校

【グランプリ】

対象事業：学ぶ・作る・食べる の教室～低価格で子どもに食の学びを～

代表者：小西 優莉香 大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校

【優秀賞】

対象事業：高齢者と暮らすもん

代表者：清水 章広 大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校

【優秀賞】

対象事業：らくちんキッチン

チーム名：食糧問題お助けし隊

代表者：今里 愛 関西学院千里国際高等部

<グランプリ選考会・表彰>

11月16日（金）「関西NBCニュービジネスアワード2021」グランプリ選考会をホテル阪急レスパイア大阪において開催し、株式会社 With The Worldが関西NBCニュービジネスアワード2021 グランプリ並びに近畿経済産業局長賞を受賞した。新型コロナウイルスの影響で会場収容人数に制限はあったが2年ぶりに会場参加とオンライン参加のハイブリットにより開催した。全てのプレゼンのレベルが高く選考が難航し、結果、U-19部門では2名がグランプリを受賞した。本年度の取組のポイントとして、U-19部門については、初めて他部門同様に会場での公開プレゼンテーションによるグランプリ選考を行った。また、会員に向け「ザッツ・アワード」を7回発行し、アワードの周知、参加促進に繋げた。

(4) 「夏のビッグイベント2021」の実施

例年8月に（公社）兵庫工業会、兵庫県中小企業団体中央会、（公財）ひょうご産業活性化センターとの共催で開催している「夏のビッグイベント」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、連携機関と協議の結果開催中止とした。

(5) 大阪ベンチャー&サポーター合同交流会の実施

例年3月に、ベンチャービジネス支援活動を実施している4機関（大阪産業創造館IAG、関西ニュービジネス協議会、大阪NPOセンター、ベンチャーエンタープライズセンター）の協働により開催している「大阪ベンチャー&サポーター合同交流会」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、連携機関と協議の結果2021年度の開催を見送り2022年5月に開催延期することとなった。

(6) 女性起業家応援プロジェクト「LED関西」への参画

公益財団法人大阪産業局が近畿経済産業局と共に実施する「女性起業家等支援ネットワーク構築事業」の中核イベントであるビジネスプラン発表会『女性起業家応援プロジェクト「LED関西」』は例年3月に開催されているが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2021年度の開催を見送り2022年5月に開催延期することとなった。

(7) 広報活動について

◆関西NBCホームページ

会員企業、新規事業支援機関、大学・研究機関の支援施策、ニュービジネス関連事項、関西NBC関連事業(関西NBCアワード、経営セミナー等)の案内や、一般社団法人としての情報開示を行った。またFacebook、Twitter等のSNSでの発信も活発に行った。

◆ニュービジネス情報「関西NBCニュース」のEメール配信

関係機関等の最新のニュービジネス情報、関西NBC活動案内、ニュービジネスに係わるイベント案内を、会員並びに配信希望のある非会員を含め1,500人(企業)に月平均1回配信した。

(8) JNB(日本ニュービジネス協議会連合会)関連について

JNB定時総会を6月(ハイブリッド)に開催。理事会を5月(書面)、6月(ハイブリッド)、1月(書面)、3月(オンライン)の4回開催。事務局代表者会議を7月にオンライン開催。12月には「第17回JNB新事業創出全国フォーラム in 神奈川」をオンラインで開催した。

(JNBの主な事業活動)

- ①協議会相互の情報交流とニュービジネス情報の共有
- ②地域協議会会員の企業成長のための事業交流(ビジネスマッチング)
- ③ニュービジネス政策への提言反映及び行政とのタイアップ活動
- ④地域協議会の強化と全国への展開
- ⑤ニッポン新事業創出大賞の実施

■未来(あす)のチカラ育成委員会

- ・「起業家教育プログラム」を企画・推進し、大阪府内の高校2校(4回)、奈良県内の高校1校(1回)、和歌山県内の高校1校(1回・オンライン)、兵庫県内の高校1校(年間プログラムとして6回)、奈良県内の高等専門学校1校(4回)で出前講義を行った。また、大阪府内で起業家教育アドバイス業務2回、兵庫県内で起業家講演会2回を開催した。
- ・大阪府立大学の「高校生起業家教育講座」への協力を行った。

## ■未来企業創造研究会

自社の企業価値を高め、次の成長のための示唆を得ることを目的とし、「当事者が語る！コロナ禍 就活事情 最前線～企業と学生のホンネの話～」をテーマに経営者、次世代経営者（後継者）等を対象としたセミナーを9月、12月にオンライン開催した。

## ■関西NBCフェスタ・アワード運営委員会

関西NBCニュービジネスアワードの募集・選考・表彰にかかる運営を行った。グランプリ選考会は本年度初の試みとしてU-19部門も会場での公開プレゼンテーションによるグランプリ選考を実施した。また、「ザッツ・アワード」を7回発行し、アワードの周知、参加促進に努めた。本年度も未来（あす）のチカラ育成委員会の協力のもと、若年層の起業家を発掘・育成することに力を注ぎ、「起業家教育プログラム」実施校からも多数の応募があった。

## ■情報交流委員会

### （1）ニュービジネスカフェ

社内ベンチャーや新規事業あるいは市場開拓に有益な情報を提供し、参加者の方々の交流を通じて人脈拡大する場の提供を目的に、5月、8月に起業・ニュービジネスに関心を持つ経営者や学生等の方々を交えオンラインセミナーを実施した。

### （2）女性輝き部会（JKB）

ニュービジネスの可能性について考えることを目的に、4月、5月、7月にLED関西ファイナリストへの支援としてビジネスプラン発表会をオンライン開催した。8月に「企業と個人にまつわるお金の話」をテーマにオンラインセミナーを実施した。

## ■つなぐ・つながる委員会

「大企業」や「成功ベンチャー」、「ベンチャー企業」、「ベンチャーキャピタリスト」、「起業家予備軍」の交流を促し、業務提携、資本提携、M&Aを含めたニュービジネス創出のエコシステムのうねりを起こし、国内経済の活性化、雇用創出に貢献するイベント『Connect! In Kobe』は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から協議の結果開催中止とした。海外視察（アゼルバイジャン）についても、開催中止とした。

## ■総務・広報委員会

関西NBC全体事業を円滑に推進するため、会員拡大に関する事項の検討、広報活動の強化、公益認定申請に関する事項の対応を行った。

## ■地域委員会

### ① 大阪ブロック

「あなたの会社でも使える！2021年最新クラウドファンディング活用法！！」をテーマに公開例会を8月にオンライン開催し、好評を博した。

### ② 京都ブロック

関西NBCニュービジネスアワードにつなげることを目的に、例会を9月、10月にオンライン開催した。

### ③ 兵庫ブロック

「ニュービジネスの創出に向けた助成金・補助金の活用について」をテーマに会員企業に向けた例会を7月にオンライン開催、好評を博した。

### ④ 滋賀ブロック

関西NBCニュービジネスアワードへの協力を行った。

### ④ 奈良ブロック

ブロック会員の親睦を図ると共に自社や地域のニュービジネス振興に繋げることを目的とした例会を「面白そうだから一緒にやろう！わたしはこれをするから あなたはこれを！」のテーマで9月に、『中小企業におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の実践と課題 ～田舎の自動車修理工場がMaaSで地域経済を活性化～』をテーマで3月にオンライン開催し、好評を博した。

### ⑤ 和歌山ブロック

「和歌山から発信する光の世界戦略」をテーマにブロック会員の親睦を図ると共に地域活性化に繋げることを目的とした例会を11月にリアル開催した。例会では毎回、出席者のスピーチに関しての質疑応答や講演会での話題に関する質問があり、有意義なものとなっている。

### ⑥ 福井ブロック

今年32回目を迎えた北陸最大規模の産学官交流イベント「北陸技術交流テクノフェア2021」（10月4日～10月29日開催）の後援を行った。